

新しい労働者組織とその活動

～アメリカの草の根に学ぶ～

「増え続ける非正規雇用労働者の権利を誰がまもるのか、彼らのスキルを向上させて労働条件を向上させる方法はあるのか、健康保険や年金の将来をどうやって安定させるのか。これらの課題は日本も同じように直面している」(山崎憲)のが、1980年代からのアメリカの現実である。新自由主義的グローバリズムの台頭によりアメリカの「産業民主主義」を成り立たせてきた社会的環境が崩壊し、巨大な産業別労組もその力を衰退させられた。こうした既成の労組の後退に替わって、ワーカーセンター、労働者協同組合、フリーランス・ユニオンやCHA、職業相談・斡旋・訓練をおこなうNPOなどの地域コミュニティーをベースとした草の根の

「労働組織」が生まれている。年金や健康保険、住宅問題、食品問題、賃金や衛生の問題、児童福祉、都市行政などの人間生活にかかわるあらゆることを対象にしており、ニューヨークの組織では、未払い賃金などの不正を働く企業の追及とともに、ゲイやレスビアン、バイセクシャルやトランスジェンダーに対する雇用差別撤廃、有給の病気休暇制度創設に向けた取り組みも展開している、という。

この公開学習会では、新自由主義的グローバリズムの震源地・アメリカにおける草の根の活動から学び、日本・関西・大阪の労働と人権にかかわる新しい活動と組織のあり方を考えてみることにする。

講師： **山崎 憲** (独立行政法人労働政策研究・研修機構)

(参考文献) 「仕事と暮らしを取りもどす」 (岩波書店、2012年発行) 1800円+税

著者：遠藤公嗣、筒井美紀、山崎憲

◆ 7月22日(水) 午後6時半～

(午後6時会場)

◆ PLP会館 4階小B会議室

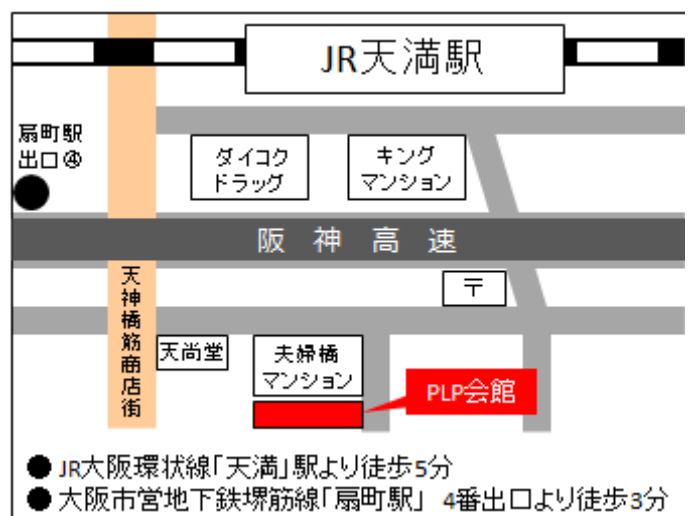
(JR天満駅、地下鉄扇町下車)

◆ 参加費 無料

◆ 参加資格 テーマに関心のある方

共催：PLP会館 大阪地方自治研究センター

(その他、後援・協賛団体など交渉中)



[連絡・問合せ先] 大阪市立大学創造都市研究科・都市共生社会研究分野

〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階

☎06-6107-9099 e-mail: mizuno@gsc Osaka-cu.ac.jp (担当者・水野)